

## 辻堂（お堂）

八幡のあちこちで、朽ちつつあるお堂ではあるが、今でも地区の「大師堂」や「観音堂」に集まったりお参りされているところがある。中に、大日如来像など数体の仏像が安置されている。お堂は、三方を板囲いにした方一間の簡単なものではあるが、かつては旅人が休んだり地域の人達のサロンの場でもあった。

実は、お堂のある風俗は貴重で、「比婆荒神神楽」のような国の重要無形民俗文化財には入らないが、「記録作成等の措置を講ずべき無形の文化財」として、「安芸備後の辻堂の習俗」が昭和58年に記録された。

### 【篠原のお大師堂】

昔、おこもり堂もあり日参する人も多く、毎月23日にはお参りの人に接待をしていた。



【湯谷観音堂】



市道湯谷線に入り 50m位行  
った所の右側にある。

【柳田観音堂】



川島 5 組佐古康雄宅横の丘  
の上にある。

【三草のお大師堂】



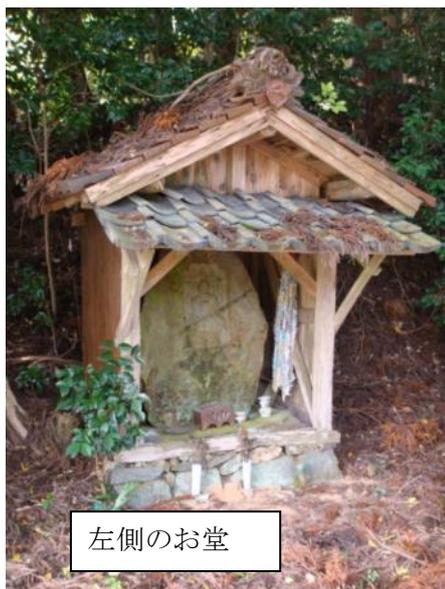
飯山茶屋裏

### 【保田のお大師堂】

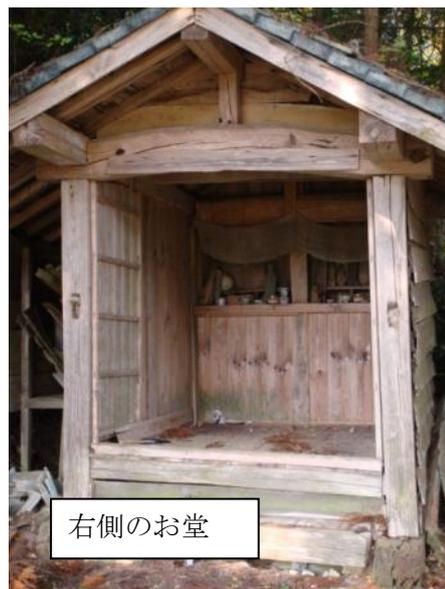
藤原英記宅裏にある。

右側の大きい方の堂には、「<sup>しょうかんぜおんだいし</sup>聖観世音大士」と「<sup>るりこうによらい</sup>瑠璃光如来（薬師如来のこと）」が祀られていたことを示すお札が納められている。

左側のお堂には、陽刻された弘法大師の石仏が納められている。これは、明治四年辛未三月二十一日に建立され、願主は伯州日野郡根尾村住人小林武治良とあり、地元世話人3名と寄進者8名の名前が刻まれている。



左側のお堂



右側のお堂

### 【保田の大日堂】



### 【森 ゆずりはの薬師堂】



### 【川鳥の阿弥陀堂 朝日山万松寺】

阿弥陀堂ながらも「万松寺の阿弥陀さん」として念仏講などを通して親しみ信仰されていて、珠数を操りながら念仏を唱えた「念珠・ねんじゅ」の大珠数が今も堂内に残っている。また、今も堂内には木造如来像×3体、石仏×1体、死没学童諸精霊・戦死病没諸英霊の位牌が安置されている。



### 【菅の不動明王】

